

リスクの見積りの方法（マトリックス法の例）

① 負傷又は疾病の重篤度の区分

重篤度（被災の程度）	被災の程度・内容の目安
致命的・重大 ×	<ul style="list-style-type: none">・死亡災害や身体の一部に永久的損傷を伴うもの・休業災害(1ヵ月以上のもの)、一度に多数の被災者を伴うもの
中程度 △	<ul style="list-style-type: none">・休業災害(1ヵ月未満のもの)、一度に複数の被災者を伴うもの
軽度 ○	<ul style="list-style-type: none">・不休災害やかすり傷程度のもの

② 負傷又は疾病の発生の可能性の区分

危険性又は有害性への接近の頻度や時間、回避の可能性等を考慮して区分します。

発生の可能性	内容の目安
可能性が高いか 比較的高い ×	<ul style="list-style-type: none">・毎日頻繁に危険性又は有害性に接近するもの・かなりの注意力でも災害につながり回避困難なもの
可能性がある △	<ul style="list-style-type: none">・故障、修理、調整等の非定常的な作業で危険性又は有害性に時々接近するもの・うっかりしていると災害になるもの
可能性がほとんどない ○	<ul style="list-style-type: none">・危険性又は有害性の付近に立ち入ったり、接近することが滅多にないもの・通常の状態では災害にならないもの